

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合発達支援プラザ ふらっぷ1号館 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 17日		～ 2026年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 17日		～ 2025年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 17日		～ 2025年 2月 13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先の理念や支援方法を尊重した支援	・訪問先の園や学校で大切にしている部分を確認し、その部分を重視しながら支援の内容を検討している。	・今後も訪問先の先生方と丁寧に情報の共有をしながら支援を進める。
2	こどもの発達の状況や課題についての共通理解	・ふらっぷでの様子もお伝えしながら、発達状況や課題の整理を行っている。	・訪問先での様子、園での様子、自宅での様子など、それぞれの場面での状況や課題を共有し、お互いに共通理解を図りながら支援を進める。
3	訪問支援を理解していただいたうえでの介入	・保育所等訪問支援の目的や役割を明確にしなが、一緒に考え、より良い支援等を提案するスタイルで実施している。	・支援内容の充実を図るために、様々な視点で捉えることを念頭に置き、必要時に多職種で実施できるようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援実施後のフォロー体制の充実	・訪問支援実施時に共有してきた内容をそれぞれの場で実施しているが、その後の確認が次回の訪問支援時になりやすい。	・訪問支援実施時に共有した内容の実施状況をお互いに確認を行い、お子さんの支援の充実につなげる。
2			
3			